



ミャンマー南シャン州にある
「タンボジ青少年育成センター」

高校生16名が学校に通いながら
農業の勉強をしています。

朝早く起き、家畜の世話を澄ませて学校へ。
帰宅後は、畑仕事と勉強。
土日も農作業や特別授業のため、休みはありません。

「何のために学んでいるの？」

「村のリーダーになって、村をよくしたいんです」

自分のためだけでなく、皆のために。
農村の将来を担う若い世代が育っています。

～未来の農村リーダーを育てる～

タンボジ青少年育成センター



タンボジセンターのある南シャン州は、
後発発展途上国と呼ばれるミャンマーの中
でも、特に開発が遅れている地域です。

タンボジセンターには、優秀でありながら
も、経済的理由で高校に通えない子ども
たちを受け入れています。子どもたちはタン
ボジ寮で生活し、高校に通いながら農業を
学びます。また、農業だけでなく人間的に
成長できるよう、環境やリーダーシップな
どについても学べるプログラムになってい
ます。



タンボジセンターの目的は、
「村の将来を担う農村リーダーの育成」
高校生16名が一生涯懸命学んでいます。



自転車で高校に通っています。

タンボジ生の一日常

- 5:00 起床
農作業
家畜の世話
- 7:00 朝食
- 8:00 登校
- 9:00 学校開始
- 15:00 学校終了
- 16:00 つかの間の
自由時間！
- 17:00 農作業
- 19:00 夕食
- 20:00 宿題や勉強
- 22:00 お祈り
- 24:00 就寝





ミャンマーの高校の進級試験はとても難しいので、合格するためにはたくさん勉強しなければいけません。毎晩12時まで、一心不乱に勉強しています。



一年に一回、地球市民の会の事業地をめぐる研修旅行をします。皆が楽しみにしている行事です。

循環型農業を学んでいます。



野菜づくりや家畜の世話は、寮生たちの大事な仕事です。寮生たちは一生懸命に頑張っています！朝早くから夜遅くまで忙しい寮生たち。睡眠時間はわずかから時間ほどです。



タンボジセンターで学ぶ子どもたちを応援しませんか？



現在、タンボジセンターの運営費は1ヶ月に25万円かかります。農園でとれた野菜や鶏の卵を販売し、センターの自立運営を目指して少しずつ努力をしていますが、もう少し日本からの応援が必要な状況です。そこで、タンボジセンターのサポーターを大募集しております！センターの自立運営に向け、子どもたちが安心して勉強できる環境を作るため、お力をお貸しください。



必要額：
タンボジ青少年育成センター運営費1年分(300万円)

用途：
タンボジセンター運営費
(食費、人件費、治療費、農園維持費、家畜飼料代、燃料費など)

サポーターお申し込み方法：
一口1,000円より、下記口座へお振込み、またはご持参ください。
口座番号：01790-3-26351(ゆうちょ銀行)
口座名義：特定非営利活動法人 地球市民の会
※通信欄に「タンボジサポーター」とご明記ください。
※当会へのご寄付は、寄付金控除の対象となります。
詳しくはお問合せください。



お問合せ：
認定NPO法人
地球市民の会



〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
Tel: 0952-24-3334 Fax: 0952-26-4922
Mail: fujise@tpa.nk-i.net
担当：藤瀬 伸恵

